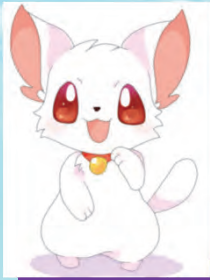


長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 2 平成28年8月 長野市



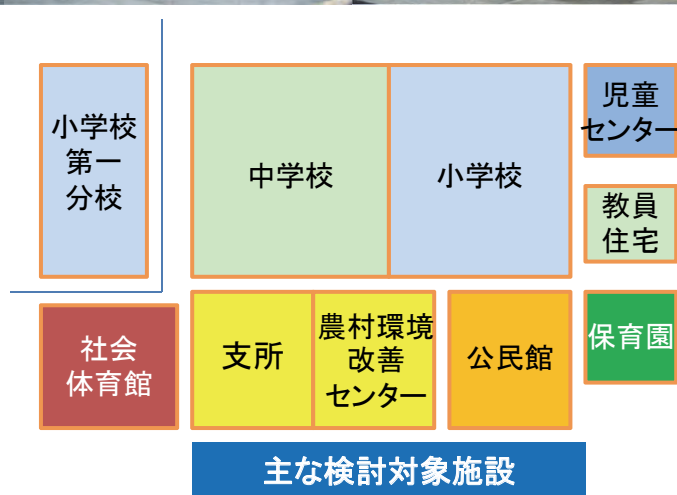
第2号

～芋井地区の公共施設について考える～ 市民ワークショップ を開催しました



最終回終了後に、会場全員で記念撮影

公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に検討する、地域の公共施設に関するはじめての試みとして、31名のメンバーに参加いただきワークショップを開催しました。世代別の5グループで毎回テーマを決めてグループ討議、意見発表を行いました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



第1回目(5月21日) テーマ:地区の将来、こんな地域を作りたい

◇第1回目は、まず市(行政管理課)から、支所・小学校を中心とした芋井地区の公共施設の現状や人口推計などについて説明し、引き続きグループ討議と意見発表を行いました。



- ◆皆が集まれる場所や機会が減った。地域の人も外の人も関心を持ってくれるようなイベントを開催する。住民が誇れる地域の文化が必要。
- ◆芋井(本村)と飯綱を結ぶ県道の拡幅など、インフラ整備を進める。
- ◆移住したくなるまち、安心して子育てできる地区にして、田舎暮らしの好きな人を受け入れる。
- ◆今住んでいる我々が楽しいと思える地域であれば、外の人も住みたいと思える。
- ◆もっと便利にして欲しい人と、不便を承知でのんびりした生活を望んでいる人が、双方満足できる。
- ◆空き家等住む場所はあるので、若者を呼び込む。地区の役を若者に押し付けない配慮が必要。
- ◆観光やりんごづくりなどの雇用はある。若者が挑戦できる職場をつくる。
- ◆芋井の価値や魅力をつくり、高めていく。市街地へ近い立地を生かしたベッドタウンも可能。

第2回目(6月4日) テーマ:公共施設でしたいこと。したいことのために公共施設をどう利用するか

◇第2回目は、休校中の小学校第一分校で開催し、グループ討議の合間に施設見学も行いました。

◇アドバイザーの前橋工科大学准教授の堤先生も参加し、グループ討議の前後でアドバイスをいただきました。



- ◆世代や地域を越えた交流。そのために、いろいろな人が興味を持ち参加できるイベント。
- ◆地域の郷土歴史もふくめて、勉強したい。
- ◆キノコや山菜など、地域の特産物を「採る」「売る」「調理する」ことで楽しみたい。
- ◆地域外の人との交流。子どもたち、学校と交流したい。交流の中から新しい事業を考える。
- ◆若い人に来てもらってコワーキングスペース(共同仕事場)を作りたい。六次産業を立ち上げたい。
- ◆料理教室。サテライトオフィス(本社から離れて勤務できる場所)。
- ◆リトアニアとの交流(一校一國運動)。パブリックビューイング。若者が集える空間。宿泊体験。
- ◆ギネス記録への挑戦、アウトドア、DIY(日曜大工など、ものづくりや修繕)農業体験。

第3回目(6月11日) テーマ:運用面から見た将来の公共施設再配置のかたち(私たちにできること)

◇参加者アンケートで「もっと具体的な施設再編について話し合うべき」といった意見をいただきましたので、3回目は、中学校・支所を中心とした既存施設の活用を想定したグループ討議を行いました。前半で「したいこと・私たちにできること」、後半で「一部の施設を減らせるとしたらどこが減らせるか、減らす施設でしたいことを別の施設に移せないか」考えていただきました。

- ◆施設の集約化は、交通の利便性の高い場所に集約させるのが良い。
- ◆施設を一ヶ所に集めることにより利便性は高くなる。
- ◆学校施設を活用すれば、機能を維持しながら集約化が可能となり、子どもの見守りもできる。
- ◆社会体育館と学校の体育館など、機能が重複している施設は集約化できる。
- ◆集約化に伴って交通手段の確保が課題となる。住民が自ら考える必要がある。



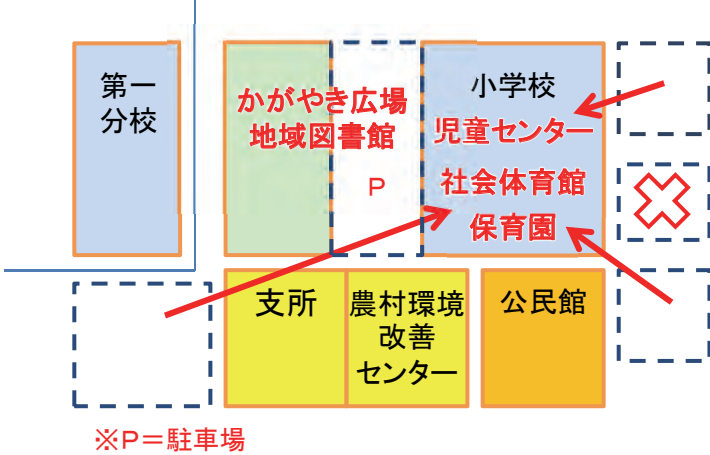
第4回目(7月2日) テーマ:私たちが考える公共施設再配置案

最終回、各グループから、芋井地区の公共施設再配置について提案をいただきました。

各グループにおおむね共通した方向性として、①現在空いている中学校舎を活用した小・中学校への集約化、②バス路線等の立地を活かした支所への集約化、③分校は独自に活用策を検討、の三点がありました。

Aグループ
人生の大先輩の皆さん

コンセプト【みんなが安心して暮らせるまちづくり】
みんな=芋井地区の人々、安心して=災害に強い



《効果》

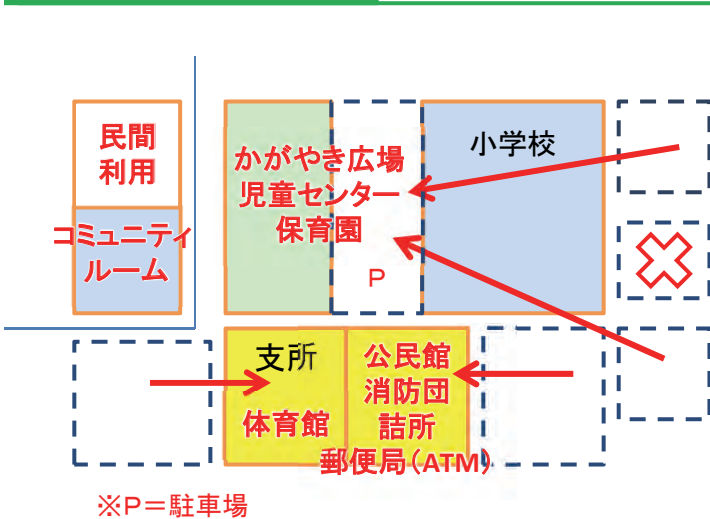
- 小中学校に機能を集約すれば世代間交流ができる場所になる。
- 学校への集約により災害対策がしやすくなる。
- 中学校は高齢者施設や図書館など、まだ使い道がある（一部取壊して駐車場不足解消）。

《課題》

- 一箇所に集中すると災害時に被害が拡大する恐れがある（施設分散も必要ではないか）。
- 集約化で施設が遠くなる住人がいる（足の確保）。
- 高齢者にとって本当に使いやすいのか考える必要がある。

Bグループ
地域のリーダー世代の皆さん

コンセプト【安全性・利便性・雇用・経済性】
3つのゾーンを構築し、コンセプトを実現



3つの拠点ゾーン



《効果》

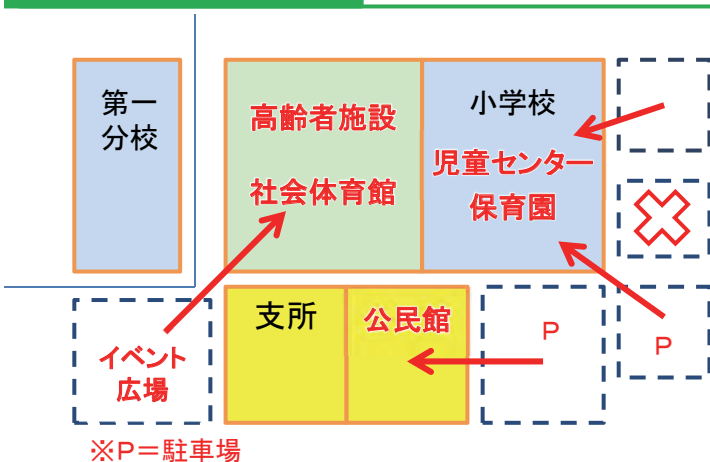
- 土砂災害警戒区域指定等を考慮して安全性の確保を図る（耐震性のある建物、指定区域外の施設への機能移転）。
- バス路線等、交通の利便性の良い場所に行政機能が集約する。
- 分校は民間利用により新たな雇用の創出を図る。

《課題》

- 3つのゾーン間の交通手段の確保。
- 民間利用の中身（高齢者向け・若者向け？そもそも誘致できるか）。

Cグループ
働き盛りのお父さんお母さん

コンセプト【地域一丸 !!】
地区内外、老若男女を問わず交流が行える場所を作る



《効果》

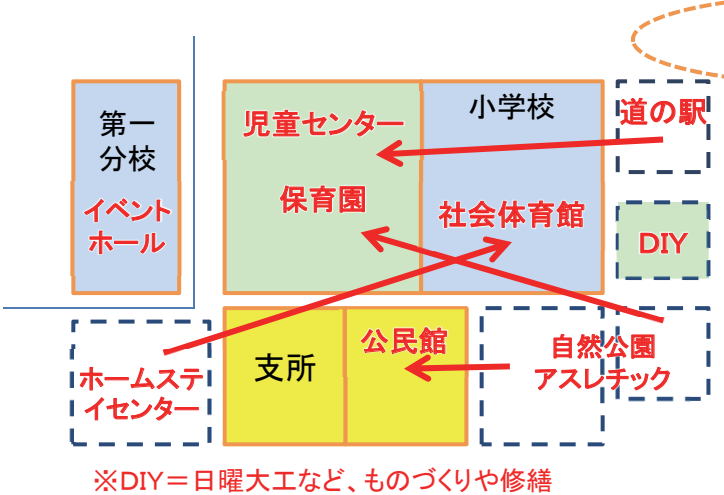
- 小中学校では、地域ぐるみで安心・安全な子育て、世代間交流でお年寄りが元気になる。
- 支所に公民館を集約させ利便性が向上する。

《課題》

- 交通手段の確保（芋井版ぐるりん号）。
- 集約化により施設利用が増えるため駐車場不足が懸念される。
- 施設の建て替えなど再編にかかるコスト。

Dグループ
子育て中の女性と
地域おこし協力隊

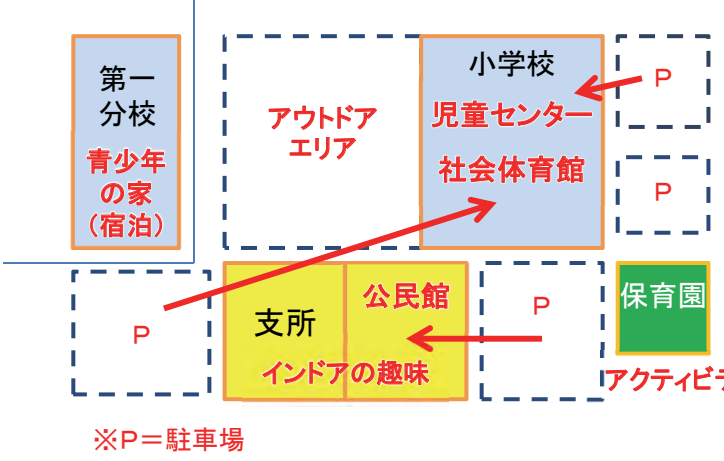
コンセプト【 若返れ！！芋井！！】 若手のリクルート、自然を残し
昔の良きものを活かす新しい芋井、子育てや子どもにやさしい自然を活かす



- ※DIY=日曜大工など、ものづくりや修繕
- 《効果》
- 支所への集約により連絡の取りやすい地域運営が可能になる。
 - 移転後の跡地には自然公園やホームステイセンターなどを整備（安心できる子育てを）。
 - 教員住宅はDIYの実践の場として開放する。
 - 芋井地区ならではのイベントを開催するスペースができる（魅力的な場所作り=PR）。
 - イベントホールやDIY実践の場により、若者を呼び込める。
- 《課題》
- アピール方法。

Eグループ
信州大学工学部の
学生の皆さん

コンセプト【週末趣味三昧ライフ in 芋井】 趣味を思い切り
楽しめるエリアを作り、芋井全体をネットワーク化して活性化



- 《効果》
- 支所公民館では食体験ができる。
 - 駐車場が増える。
 - 分校は宿泊機能を持たせ、宿泊体験のできる趣味のエリアになる。
 - 小中学校エリアは、中学校跡地を広場とし、アウトドア趣味エリアとする。
 - 不要な建物を取り壊し、駐車場や広場とすることでアクティビティの幅が広がる。
 - アウトドアとインドア両方の活動が可能になる。
 - 地元住民だけでなく、週末は市街地から人が訪れて賑わうように。

参加者アンケートから

- ◆「やりたいこと探し」なのか「公共施設をいかに使うか」なのか、ワークショップの論点と内容がずれていた気がする。
- ◆中山間地域で「50年続く活動」を見つけるのは難しい。公共施設は存続し得ないことになる。
- ◆実現できるかは別として、夢を語ることはワクワクした。実現したいこともあった。
- ◆今回参加して、改めて公共施設の一つ一つについて、利用方法を含めて考えることができた。若い世代に、公共施設等よりよい地域を残すためにどうしたら良いか考える機会となった。
- ◆地域が本気で施設のこれからを考えないと、子や孫の世代に負担を強いることになる。
- ◆今回のワークショップは始まりであって、今後地域ぐるみでさらなる検討や調整を深めていき、市に提案できるものをまとめ上げていかなければならないと感じた。

◇今後、具体的な芋井地区の公共施設再配置につきましては、ワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さんと、引き続き協議を重ねてまいります。



公共施設マネジメントについての意見ご要望は、遠慮なく行政管理課にお寄せください！

ワークショップにおける各回の資料や結果のまとめなどは、長野市公式ホームページ>行政管理課>公共施設の見直しに掲載していますのでご覧ください。
また、2回目と4回目の様子についてインターネットテレビ「愛TVながの」で映像をご覧いただけます。

**長野市 総務部 行政管理課
公共施設マネジメント推進室**
〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel: 026-224-8402
Fax: 026-224-7964
E-mail: gyousei@city.nagano.lg.jp

◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。